

製品名: Silk Central 13.0

リリース日: 2013 年 7 月 30 日

1. はじめに

マイクロフォーカスは、テスト管理ツールの新バージョンである「Silk Central 13.0」をリリースいたします。

2. サポートプラットフォーム

Silk Central 13.0 は下記のプラットフォームをサポートします。太字は新規サポートです。

アプリケーション, フロントエンド およびチャートサーバー	実行サーバー	ブラウザサポート
<u>Windows OS</u> > Windows XP SP3 > Windows Server 2003 R2 SP2 > Windows Server 2008 R2 SP1 64 bit > Windows Server 2012	<u>Windows OS</u> > Windows XP SP3 > Windows XP 64 bit SP 1 > Windows Vista Ultimate 32 bit > Windows 7 32 bit SP1 > Windows 7 64 bit SP 1 > Windows 8 32 bit/64 bit > Windows Server 2003 R2 SP2 > Windows Server 2008 R2 SP1 64 bit > Windows Server 2012	Windows OS > Internet Explorer 8 > Internet Explorer 9 > Internet Explorer 10 > Mozilla Firefox > Chrome
<u>Web サーバー</u> > IIS 6 32 bit/64 bit > IIS 7 32 bit/64 bit > IIS 8 32 bit/64 bit > Micro Focus スタンドアロン Web サーバー (Tomcat)	<u>Linux OS</u> > Ubuntu	統合可能なマイクロフォーカス製品 > CaliberRDM 10.1 > CaliberRM 10.1 > Caliber 11.0 (Hotfix1 が必須) > Silk Performer 9.5, 10.0 > Silk Test 13.5, 14.0
<u>データベース</u> > Microsoft SQL Server		

<p>2005 SP3</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Microsoft SQL Server 2008 R2 SP2 ➤ Microsoft SQL Server 2012 SP1 ➤ Oracle 10g (version 10.2.0.5) ➤ Oracle 11g (version 11.2.0.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Redhat Enterprise Linux ➤ Debian ➤ Suse Linux <p>Java サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ JDK 7 以降 ➤ JRE 6 以降 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ StarTeam 12.5, 13.0 ➤ Silk TestPartner 6.3.1
--	--	---

> インテグレーション製品の追加

- > Silk Centralと統合できる他社製品は以下の通りです。太字は新規追加です。

製品名	バージョン
Bugzilla	4.0
Compuware Changepoint	Changepoint 2010SP1, Changepoint 2009, Changepoint 2009 SP2
IBM Rational ClearQuest	2003.06.15.734.000
IBM Rational DOORS	9.3, 9.4
IBM Rational Requisite Pro	7.0.0.0
JIRA	4.4, 5
Atlassian GreenHopper	6.1.4.2 (JIRA 5.2.8 ベース)
JUnit	4.11 以降
Microsoft Office Excel	テストのインポートとして xls, xlsx をサポート
Microsoft Office Word	要件のインポートとして doc, docx をサポート
Rally	
SAP Solition Manager	7.1
Subversion	1.6.x
Team Foundation Server	2010, 2012
VersionOne	Enterprise Edition
VMware vCenter Lab Manager	4.0.4
VMware vCloud Director	5.1

3. Silk Central 13.0 の新機能

代表的な Silk Central の新機能は以下の通りです。

> 手動テスト機能の強化

> オフライン手動テスト

オフライン手動テストを使用すると、テストをダウンロードしてオフラインで完了することができます。

> 手動テストの開始と実行のアクセス許可

手動テスト担当者が、Silk Central の他領域のアクセス許可なしで手動テストを開始、実行できるようにするため、新しい2つのアクセス許可の設定が追加されました。

> **手動テストのブロック済み設定**

テストのステータスとは別に、テストをブロック済みに設定することも可能です。

IT インフラの問題などのある種の制約によって、テストを続行できないことを示すために、テストをブロック済みに設定すると便利です。

> **新しいダッシュボードパネル：現在実行中の手動テストのステータス**

新しいダッシュボードパネルは、指定したプロジェクトのすべての実行中の手動テストのステータスを表示します。テスト管理者は、現在ブロックされているテストの確認や、実行中のテストのうちの実行済みテストのステータスを監視することができます。

> **自動テストの手動テストへの変換**

自動テストを手動テストに変換できます。この機能は、自動テストを他のテストタイプに変換したい場合、たとえば、Silk Test Classic から Silk4J に変換したい場合に便利です。この場合、Silk Test Classic テストを手動テストに変換してから、それを Silk4J で自動化します。

> **手動テスト結果ビュー**

完了または未完了のテスト実行があるとき、手動テスト結果ビューを使用して、添付した問題や添付情報のようなすべての情報を含む結果を簡単に参照することができます。この情報はすべて直ちに表示されます。同様に、PDF 版の印刷やダウンロードも可能です。

> **レポート機能の強化**

> **レポートデータマート**

Silk Central レポートデータマートは、レポート目的のデータへのアクセスを容易にします。運用テーブルから詳細レポートの作成に使用される専用のビューにデータを移動します。利点は次の通りです。

- ・ テーブルとビューの名前が明確で、検索するデータの場所を素早く見つけることができます。
- ・ 前処理済みのデータによって、自分で計算せずに集計済みデータにアクセスすることができます。
- ・ レポートがより単純化され、SQL クエリが高速化されるため、パフォーマンスが改善されます。
- ・ 運用データベースの負荷に対する依存性が低下し、パフォーマンスが改善され、負荷スパイクが削除されます。

> **レポートデータページとエクセルエクスポートの強化**

レポート > 詳細ビュー > データページで、ソートおよびフィルター機能を持つ動的なグリッドでレポートの結果が表示されるようになりました。表示できるデータは、ダウンロードデータ (.xlsx) ボタンを使って Excel にエクスポートできます。

> **グローバルレポートとレポートテンプレート**

Silk Central に同梱されたデフォルトレポートは、すべてのプロジェクトで表示可能で、レポートツリーのグローバルレポートの下に一覧されます。これらのレポートは変更できませんが、必要に応じてコピー

を作成してカスタマイズすることができます。ユーザー独自のカスタムレポートを グローバルレポート ツリー内に作成すると、そのレポートはすべてのプロジェクトに対して利用できます。
また、プロジェクトツリーと グローバルレポートツリー間でレポートをコピーすることもできます。

> **Silk Test Workbench .NET スクリプトへのパラメータの受け渡し**

Silk Centralから Silk Test Workbench .NET テストにパラメータを受け渡すことができるようになりました。パラメータの受け渡し方法は、既存のSilk Test Workbench ビジュアルテスト機能と同じ方法で行われます。

4. Silk Central 13.0 の評価版入手方法

Silk Central13.0 の評価版は以下の URL から申し込みできます。製品はインストールした日から 45 日利用できます。

<http://www.microfocus.co.jp/products/AMQ/product-trials/>